

日本伝熱学会関西支部

第27期 特別講演 第2回講演討論会（オンライン開催）

開催報告

日時：2020年9月30日（水）14:00～17:00

会場：WebEX オンライン会議システム・関西大学第4学舎1号館 協同学習室から配信

参加者：対面参加 8名，オンライン参加 51名，意見交換会 19名

オンライン会議システムにより開催しました。なお、講演者の方々と支部長、副支部長、司会者の少人数は関西大学の講演室に集まり、そこから講演を配信するスタイルで実施しました。

また、オンライン意見交換会を講演会後に行いました。参加者の全員から近況などの報告をいただき、意見交換をいただき、交流を深めることができました。

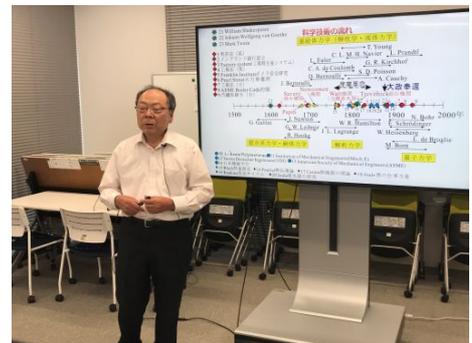
14:00～14:10 須賀 支部長挨拶

14:10～15:30 特別講演会

ボイラにおける伝熱流動の諸問題

小澤 守 氏（関西大学名誉教授）

300年間のボイラの歴史を振り返った。火力ボイラを中心として、各種の課題を概観し、それらがどのように解決され、またそれらからどのような研究分野が展開してきたか、その創生時のエピソードを交えて解説された。



15:40～16:40 第27期第2回講演討論会

国際水素サプライチェーン構築への取り組み

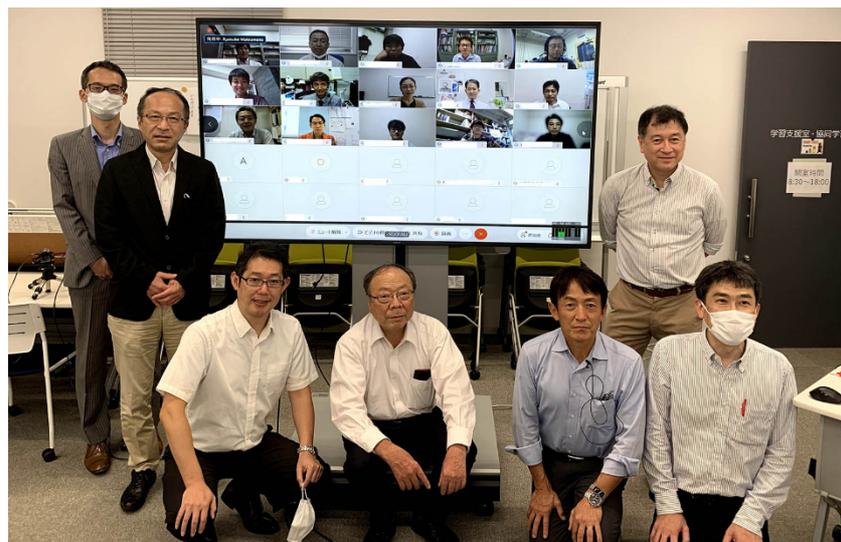
井上 健司 氏（川崎重工業）

世界的な地球温暖化対策が叫ばれる中、日本はもとより、欧・米、豪州、中国などを中心に脱CO₂の動きが活発化している。エネルギーのほとんどを輸入に頼る日本においては、今までの化石燃料中心のサプライチェーンから新たなフェーズへの移行が求められている。講演では、官民上げて取り組んでいる国際水素サプライチェーンについてのロードマップ、それに基づく日豪パイロットチェーンプロジェクトの進捗について、詳細に紹介された。



18:00~19:30 意見交換会

講演討論会終了後、講演者をお招きし、オンラインにて意見交換会を行いました。（参加者数 15 名）



集合写真



講演配信中の様子